

スポーツ振興基本計画 後期5カ年計画

問い合わせ スポーツ・青少年課 ☎7910

本市では、平成十五年三月に策定した「芦屋市スポーツ振興基本計画」に基づき、いっぺんでも「気軽に」スポーツを継続して実施できるよう、生涯スポーツの実現を目指し、取り組みを進めてきました。その後、社会情勢やスポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、平成十九年九月に市民意識調査を行い、スポーツ振興基本計画の見直しに着手してきました。今回策定した「後期5カ年計画」は、前期5カ年の検証と市民意識調査の結果と、スポーツ振興審議会からの提言を踏まえて、これからの五年間に重点的に取り組むべき課題を明らかにし、そのための基本的な施策を示したものです。

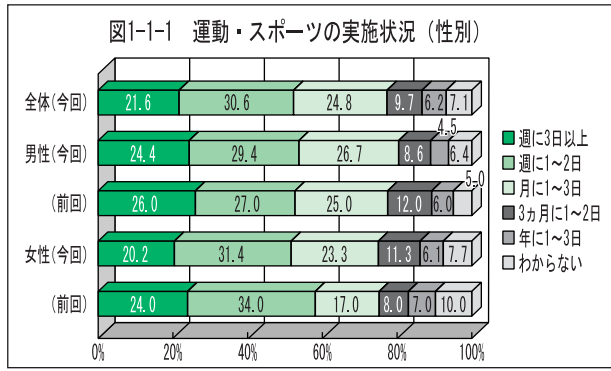
■基本理念

すべての市民が、豊かなスポーツライフを通して、アクティブ(主体的)な活動的・健康的で質の高い生活を実現します。

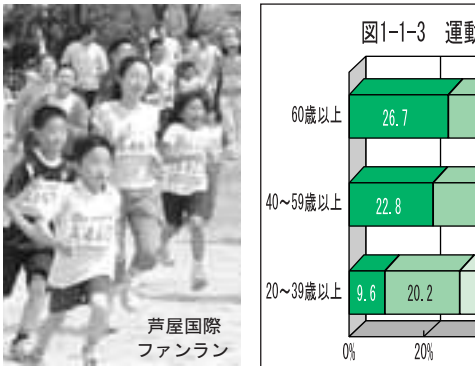
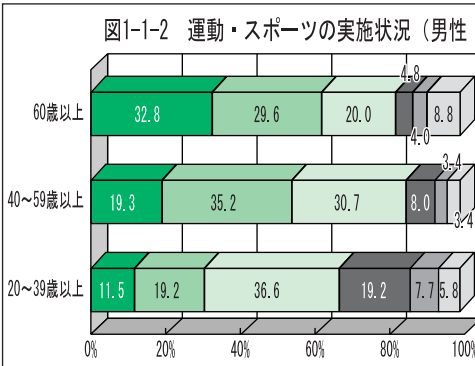
■政策目標

市民一人一人が、それぞれの年齢や生活スタイル、目的に応じて、いつでも、どこでも、気軽に、生涯にわたってスポーツを楽しむことが出来るように、スポーツ・フォー・エブリワンの実現のため、週一回以上のスポーツ実施率が66%以上(二人一人一人)になることを目指します。

運動やスポーツを継続実践している人が五割以上にもなるなど、健康意識の高まりがつかえますが、「体力の衰え」を自覚する人が六割を超え、「運動不足」「精神的な疲労」「ストレスを自覚する人が増えるなど、運動不足」「精神的な疲労」などの不安を持つ人と、健康的で活動的な生活習慣を実践する人の二極化が進んでいます。

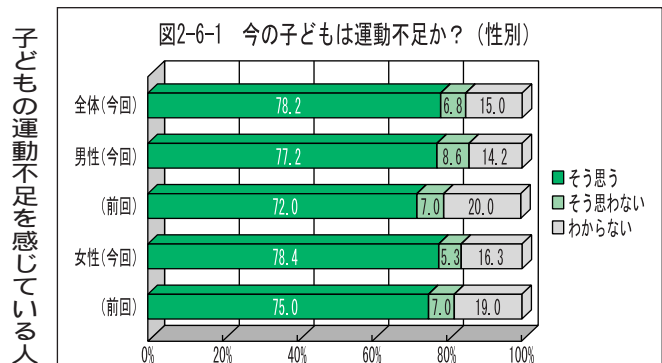
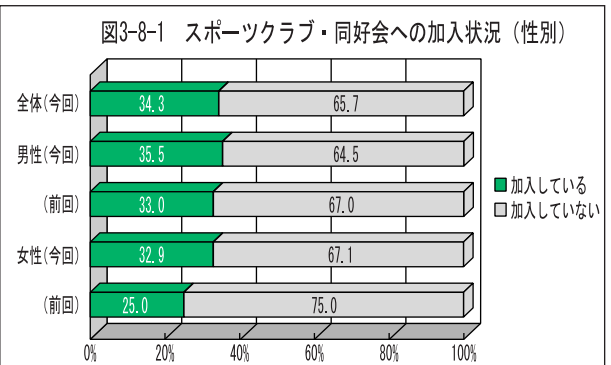


【計画の期間】平成20年度から24年度まで、後期5カ年の計画とします。
【計画の主要課題】定期的スポーツ実施率が66%となるよう、スポーツ施設の有効活用と利用促進を図ります。子どもの体力向上に向けて、「スポーツクラブ21ひょうご」や、学校部活動の支援を行います。女性や障がいのある人が、スポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みます。



子どもの運動不足の理由(複数回答)

| 順位 | 項目 | 全体(%) | | 男性(%) | | 女性(%) | |
|----|-------------------------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 |
| 1 | 勉強・塾などに忙しくて時間がない | 54.4 | 56.6 | 50.5 | 54.4 | 57.6 | 57.6 |
| 2 | テレビを見る時間などが多く、外で遊ばなくなった | 50.7 | 51.6 | 49.8 | 49.6 | 51.5 | 52.2 |
| 3 | 遊んだり運動したりする場所がない | 35.1 | 40.4 | 34.6 | 41.9 | 35.6 | 39.4 |
| 4 | 親が過保護、教育熱心で子どもを外に出さない | 27.8 | 33.9 | 28.4 | 34.4 | 27.4 | 32.8 |
| 5 | 社会や親が遊びや運動の大切さを教えていない | 28.9 | 32.8 | 34.9 | 34.8 | 23.8 | 30.9 |
| 6 | 遊んだり運動したりする方法を知らない | 30.8 | 31.3 | 33.2 | 30.4 | 28.8 | 33.2 |
| 7 | 遊んだり運動したりする仲間(友達)が少ない | 28.6 | 30.6 | 28.0 | 30.0 | 29.1 | 31.0 |
| 8 | 歩く機会が少ない(交通手段が便利になった) | 32.6 | 28.2 | 25.6 | 23.3 | 38.5 | 33.2 |



■学校・家庭・地域と連携し、子どもの体力向上を目指します。

子どもは運動不足を感じている人が四人に三人(78.2%)となっています。運動不足の原因は、「勉強・塾などに忙しくて時間がない」「テレビを見る時間などが多く、外で遊ばなくなった」などです。また、45%の人が地域におけるクラブや同好会に加入していないと考えており、幼児・児童から高齢期に至るまで興味・関心・体力に合わせた多様なプログラムの開発や啓発活動が求められています。今後は、スポーツクラブ21の充実と民間クラブ・同好会の支援を行う目標達成を目指します。

スポーツ教室への参加目的

| 順位 | 項目 | 全体(%) | | 男性(%) | | 女性(%) | |
|----|------------------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 |
| 1 | 健康や体力づくりのため | 39.3 | 34.6 | 32.2 | 30.2 | 45.3 | 38.2 |
| 2 | 仲間と運動やスポーツを楽しむため | 21.0 | 19.2 | 20.4 | 16.9 | 21.5 | 21.8 |
| 3 | スポーツ知識や技能を高めるため | 10.7 | 10.3 | 13.1 | 11.1 | 8.5 | 11.6 |
| 4 | その他 | 0.8 | 2.2 | 1.0 | 2.2 | 0.6 | 1.8 |
| 5 | わからない | 0.8 | 2.2 | 1.0 | 2.2 | 0.6 | 1.8 |

■施策の展開

【施設の有効活用と利用促進(ハードウェア)】手軽にスポーツのできる施設の整備と、学校施設の夜間開放を積極的に促進します。総合公園をスポーツ振興の拠点施設として、利用促進と必要な整備を行います。キャナルパークの有効活用と環境整備を行い、海洋スポーツの振興を図ります。ウォーキング(ジョギング)コースの開発や環境整備を推進します。



【クラブ・プログラム・イベントの活性化(ソフトウェア)】「スポーツクラブ21」が、多目的・多世代・多目的なクラブとして、自主運営できる基盤構築のためのビジョンを作成し育成を図ります。幼児期から高齢期それぞれのライフステージに応じたスポーツプログラムの開発・提供と啓発の推進障がいのある人のスポーツ活動の普及と実施機会の向上を図ります。

第58回「社会を明るくする運動」市民の集い

毎年七月は、「社会を明るくする運動」の強調月間として、全国的にさまざまな事業が展開されます。この運動は、「防ごう犯罪と非行

市民レベルでのスポーツ交流を進め、多文化共生に貢献します。市内スポーツ団体と指導者とのネットワークづくりを推進します。スポーツ情報サービスの充実を図ります。

【指導者・ボランティア・選手・愛好者の養成と確保(ヒューマン)】総合的なカリキュラムを作成し、学校・家庭・地域と連携して、子どもの体力向上を図ります。学校部活動は、外部指導者制度の充実、合同部活動の導入を図り、柔軟な育成システムを構築します。

新・病院構想

膝関節の病気と治療

芦屋病院整形外科・名和 巖



整形外科では、現在、MRIなどの高度医療機器を使用し、高齢者の膝痛(変形性膝関節症)や骨折などの診察・治療・手術に取り組みしています。

膝関節は、軟骨・半月板・靭帯など多様な組織から成り立つ複雑な構造で、病状には高齢者に多い変形性膝関節症、比較的若い人に多い靭帯損傷・半月板損傷があります。治療法は、患者さんの状態などを考慮し、相談ながら決定します。

【変形性膝関節症とは】関節は、骨と骨のつなぎ目に当たる部分です。その骨の表面は軟骨で覆われています。軟骨は、関節を滑らかに動かす働きをします。軟骨が、年齢とともに変形したり摩耗したりすることで起こる、痛みや腫れ関節の変形を「変形性膝関節症」と呼びます。膝関節は、特に慢性的に占めています。

人工関節置換手術 骨切り手術 内視鏡手術などがあります。当院では、内視鏡手術、人工関節置換手術に特に力を入れています。膝関節の内視鏡手術は、軟骨すり減りや高齢者の膝関節痛は、「軟骨すり減り」と考えられ、関節注射など保存的治療で対処されることが多いと思われています。しかし、変形性膝関節症と診断されたら、関節の中にある板状の軟骨半月板が傷ついたり、はげ落ちた骨のかけら(遊離体)が関節の中で強い痛みを引き起こしている場合があります。

内視鏡治療なら、これらを取り除いて強い痛みを和らげ、正常な軟骨へのダメージを軽減できます。内視鏡治療では、膝の前面に五三

り程度の穴を二・三カ所開け、専用の器具を用いて手術を行います。手術翌日から歩行可能で、入院期間はリハビリを含めて、週間程度です。

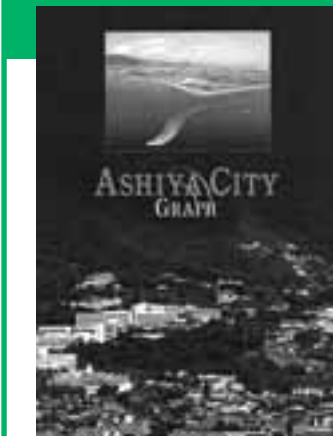
人工関節治療とは、人工関節治療は、傷んだ骨・軟骨を切除し、金属製の人工関節に入れ替える治療です。ある程度出血が予想されますが、手術翌日から歩行でき、約一カ月で退院できます。

膝関節内MRI検査 膝関節内MRI検査 膝関節内の軟骨・半月板・靭帯を詳しく検査・診断するには、MRI検査が最適です。最新のMRIなら膝関節の病状を詳細に診断できます。



講師 和歌山大学客員教授・木津川 計氏 二歳以上 要予約 事前に地域福祉課へ 手話通訳・要約筆記あります。

「芦屋シティグラフ(ASHIYA CITY GRAPH)」好評発売中!



「芦屋シティグラフ」A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行・発売しています。芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらにふれつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)など盛りだくさんの情報が、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご活用ください。 ■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

「広報あしや」を配置している施設一覧

- 【阪急以北】三栄デザインセンター、アクティブライフ山芦屋、西山郵便局、芦屋病院、兵庫県警察学校、和風園、あしや聖徳園、朝日ヶ丘集会所、コープミニ東山、東山郵便局、アクティブライフ芦屋
- 【阪急〜国道2号】前田集会所、コープミニ西芦屋、市民センター・社会福祉協議会、JR芦屋駅、ラポルテ市民サービスコーナー、大原集会所、女性センター、ロングライフ芦屋、上宮川文化センター、翠ヶ丘集会所
- 【国道2号〜国道43号】市役所北館受付、くらら芦屋、体育館・青少年センター、芦屋税務署、芦屋警察署、医師会、歯科医師会、商工会、芦屋健康福祉事務所(芦屋保健所)、茶屋集会所、春日集会所
- 【国道43号以南】ハートフル福祉公社、芦屋ケアセンターそよ風、竹園集会所、図書館、あしや温泉、西蔵集会所、エルホーム芦屋、打出集会所、あしや喜楽苑、潮見集会所、ダイエー芦屋浜店、浜風集会所、海浜公園プール、さくらの園、コミュニティ・プラザ(市営住宅)コミュニティ・プラザ(県営住宅)、マイライフ芦屋、あしや

問い合わせ 広報課 ☎38-2006/FAX38-2152